

住民同士ならでの 心に寄り添う支援

自治会と
連携して
活動

めぐり

三栗シニアクラブ（枚方市）

●活動組織：三栗渚園自治会「お助け隊」

●活動開始時期：平成 24 年 4 月

●活動者数：15 人

●費用：ワンコイン（500 円）



自動車での送迎

このクラブでは、老人クラブから自治会に提案して生まれたボランティア組織「お助け隊」に会員の有志が参加し、暮らし支え合いに取り組んでいます。「お助け隊」隊員 15 人のうち、12 人が老人クラブの会員です。

もともと、ここの地域では、自分の外出のついでに、高齢で歩くのが不自由になった住民に声をかけて、自家用車に乗せて送るといった助け合いを日常的に行っていました。しかし、どうしても後で気をつかって多額のお礼を持って来られたりするので、もっと気兼ねせずに助け合える仕組みを作ろうと、「お助け隊」を立ち上げることにしたのです。

自動車での送迎と、庭木のせんてい作業を主にして約 4 年前に活動を開始。それ以外のことでも「困ったことがあったら、何でも声をかけてや」と呼びかけ、最近では「夫が亡くなって本を整理したが、本の束が重くて家の外に出せない」「玄関のひさしの天井が雨が漏って腐って垂れてきたので、何とかしたい」「テレビが映らなくなったので、見てほしい」などの困りごとにも応えています。

支援内容

- 自動車での送迎：病院への通院、買い物、駅への送り、レストランへの送りなど
- 庭木のせんてい、草刈りなど
- 屋内の作業：電球の取り替え、蛇口の水漏れ、カーテンの取り外し、鍵の修理など
- 相談事：振り込め詐欺、押し売りなど

支援を行った際は、お互いに負担にならない程度の金額として、ワンコイン（500 円）を受け取ることにしています。

大切にしているのが、住民同士ならでの心に寄り添った支援です。たとえば車での送迎では、迎えに行ったら家を出て来るまで急がさずにゆっくり待ち、車に乗り込む時はさりげなく手を貸し、気軽な会話の中で相手の状態を気づかいながら目的地に向かいます。こうした親身な対応がみんなから喜ばれ、現在、毎月約 30 件の依頼があります。



庭木のせんてい作業

ひとこと



古川 昭
「お助け隊」隊長

「お助け隊」の活動を始めて、地域のつながりが強くなったと感じています。自治会や老人クラブの行事に参加する人が増えましたし、災害対策に取り組む「防災隊」を自治会員 220 世帯で組織することにもつながりました。